

平成29年度採択分

「農業界と経済界の連携による生産性向上モデル農業確立実証事業」における連携プロジェクト一覧（団体名の50音順）

No.	プロジェクトの要旨 (団体名)	農業界の代表者 経済界の代表者	実証地	その他の 構成員	連携プロジェクトの内容
1	ICTやグループウェア等を活用した圃場管理による 農業経営の見える化 (越後スマート農業プロジェクト)	㈱ふるさと未来 ㈱アイテック	新潟県	企業、その他	スマートフォンをかざすだけで情報が取得できるNFCタグ グループウェア等を活用した農業経営の見える化を行い、生 産コストの低減と生産性の向上を図る
2	温湿度管理とマルハナバチの活動量の見える化による 温室栽培環境の安定化 (気候変動対応型コンソーシアム)	(有)さかき ㈱環境デザインラ ボ	千葉県	農業法人、 企業(3 社)	施設園芸において、水道圧でも発生可能な低価格で濡れな い汎用性の高いミスト機を開発し、温室栽培環境の安定化を させるとともに、マルハナバチの活動を活性化し、品質と収 量の向上を図る
3	水田の低コスト水位管理センサーの開発 (シンプルかつ低コストな水田ICT化プロジェク ト)	㈱ヤマザキライズ 北海道セイカン工 業㈱	埼玉県	企業	導入・維持が低コストで必要最小限の機能に絞った水田の 遠隔水位センサーを開発し、生産コストを低減する
4	CO2施用と補光等の技術を組み合わせた新たな栽培 システムの開発 (新CO2施用統合システムを核とした果菜類と果樹 のハイブリッド周年栽培による新ビジネスモデル創 出)	㈱リコベル ㈱テヌート	山梨県	大学	施設園芸において、花を咲かせながら結実させる連続開 花結実法(周年出荷可能)に対応したCO2とAir局所施用及び補 光や無線等の技術を組み合わせた統合システムの実用化によ り、端境期における生産を確立し、収益向上を図る
5	自動操舵式除草用ポートと水田用水自動止水装置の 開発 (新世代稲作農機開発コンソーシアム)	㈱和仁農園 ㈱インフォファ ーム	岐阜県	農業法人、 JA、企業 (2社)	水田作業において、ボディーボードを活用した自動走行除 草用ポートと安価で簡易な(バネ動力等を活用した)水田用 水自動止水装置を開発し、生産コストの低減を図る
6	縦型高密度式水耕栽培システムを活用した植物工場 の開発 (先端的栽培システムによる植物工場の高密度化・ 作業性向上による高効率化、及び先端的太陽光併用 型植物工場の開発コンソーシアム)	㈱エム 鋼飯商事㈱	愛知県	企業	植物工場において、縦型高密度式水耕栽培システムと太陽 光採光システムの開発により、生産性の向上と生産エネル ギーコストの低減を図る
7	果樹栽培現場における環境計測データ、熟練者の作 業登録データ、気づき、ノウハウ等を活用した生産 技術の高度化・標準化 (農業ICTの活用による果樹生産性向上、伝承推進 PJ)	(有)ぶどうばたけ ウォーターセル㈱	山梨県	企業(2 社)	露地果樹栽培において、環境計測データと熟練者の作業 データを記録した営農アプリケーションの開発・導入によ り、就農者の生産技術の高度化・標準化の早期取得を実現 し、生産性の向上を図る
8	メタン発酵残渣の効率的な利用方法の確立 (メタン発酵消化液等の効率的な利用方法確立プロ ジェクト)	㈱クボタeファーム やぶ ㈱トヨーエネ ルギーファーム	兵庫県	農業者(2 者)、企 業、地方 自治体	メタン発酵消化液の効率的な散布や近郊地域からの運搬に 係る実証を行い、消化液の効率的な利用方法を確立するこ とで、肥料コストの削減とメタン発酵施設の普及を図る
9	輸出国の残留農薬基準データベースやGAPに対応し たICTシステムを活用した栽培作付手法の確立 (輸出拡大に向けた栽培作付手法確立実証事業コン ソーシアム)	㈱横江ファーム パナソニック㈱ ソーシアム)	滋賀県	農業法人、 JA、企業、 その他	輸出国の残留農薬基準にあった栽培方法や品質担保対応 (GAP対応)を支援する農業管理システムの開発により、輸 出を拡大するための栽培手法の確立を図る

参加企業等合計: 農業法人12社、農業者2名、JA2者、
企業21社、大学1校、地方自治体1市、
その他2者
合計41者